

# 木質バイオマスボイラー等導入セミナーに参加

山形森林管理署 最上支署

平成26年1月24日村山市において、県村山総合支庁森林整備課主催の「木質バイオマスボイラー等導入セミナー」が開催されたので、木質バイオマス利用の状況を把握するために支署職員4名が参加しました。

山形県は再生可能エネルギー（木質バイオマスや風力、太陽光など）



八十名以上の参加者で開催



ペレットボイラー施設外観

狭い施設が見学者でこった返し



の供給基盤の整備に力を入れており、平成25年11月には吉村知事が「森林（もり）ノミクス」を宣言、森林・里山の多様な資源を積極的に活用し産業振興や雇用の確保などを図ることとしています。

資源を有効活用することを学ぶために市町村や企業などの担当者約80名の参加で開催された導入セミナーは、第1部で木質バイオマス利活用状況（化石燃料に対する価格の優位性など）や各種補助制度の説明、先進地の山形県最上町からの事例報告がありました。第2部で平成26年度に二つの高校が統合、新たに誕生する県立村山産業高校（現村山農業高校）に導入される木質ペレットボイラーを見学、最新技術のペレットボイラーの説明を受けました。参加者からは多くの質問が出され、導入メーカーの説明者も説明に苦心していましたが、質問した各担当者の事業化への興味が強い証と感じられました。

今後、木質バイオマス資源活用が進んでいく中で、資源供給側の国有林として安定供給の観点を含め利活用状況を注視していく考えです。